



目黒の風物詩 駒場野公園の雪達磨



みんなで探して 発見! 身近な自然

2015年2月18日発行
自然通信員だより第55号
めぐろいきもの气象台
Tel: 03-5722-9359
Fax: 03-3792-2112
〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15
目黒区みどりと公園課みどりの係

目黒のサクラ シンポジウム開催

●2014年2月28日(土)に目黒区
総合庁舎大会議室にて開催します●

桜を楽しむ目黒の風景や歴史の紹介、桜復植活動など、目黒川を中心とした区内での桜の取り組みや、全国的な取り組みについて紹介します。

講師の方と一緒に、桜について考えてみませんか? 目黒のサクラ基金のご案内やパネル展示なども行います。

⇒詳しくは同封のチラシをご覧ください!

共催:国際生物多様性の10年日本委員会
(UNDB-J)

●講師紹介●

ねもと みお
根本 美緒 (フリーアナウンサー、地球いきもの応援団)

東北放送アナウンサーを経てフリーとなり、TBS「みのもんたの朝ズバッ!」お天気コーナーを担当し人気を集める。

現在、TBS「いっぶく!」(月~金 8:00~10:00)でお天気コーナー(ぶく天)を担当するほか、ニッポン放送「根本美緒のハッピータイム」(土 21:30~)などに出演中。



わだ ひろゆき
和田 博幸 (公益財団法人 日本花の会 主任研究員)
全国のサクラの名所づくりや、花のまちづくり運動を推進

あべ よしこ
阿部 芳子 (目黒川を豊かな生活環境にする会 事務局長)
目黒川の環境改善などの活動を行う

きむら ゆうじ
木村 雄二 (上野桜守の会)
上野公園で住民参加型の桜保全活動を行う

目黒 Finders (めぐろ観光まちづくり協会)
目黒区の写真を Facebook で発信するなどの活動を行う

シジュウカラの巣箱モニター 2014

5個の巣箱で巣作りし、21羽のヒナが巣立ちました!



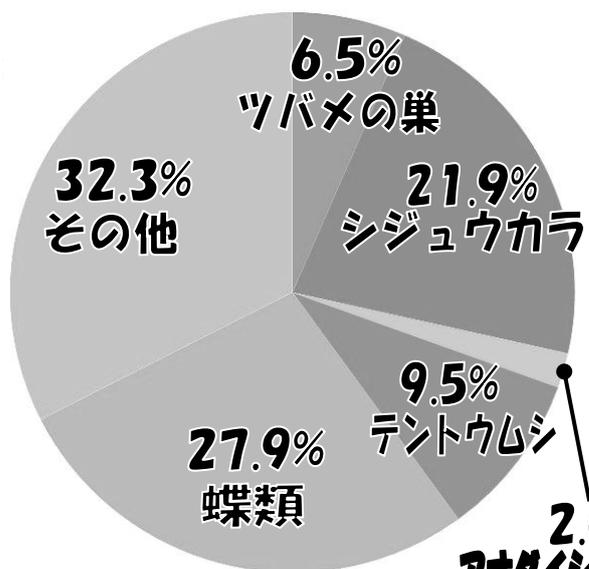
《観察報告から》◎5月16日巢内確認 卵8個。6月順調に4羽成長。6月15日4羽巣立ちとして観察終了(目黒本町4丁目)◎毎日つがい庭先に来ていたので来年の営巣に期待します。(柿の木坂1丁目通信員)◎4月23日フタが開けられていた。シジュウカラの巣がカラスに襲われた模様。4月24日フタを元に戻したら又、来る。中にも入る。カラスもまた来る(駒場4丁目通信員)

●皆様ご協力ありがとうございました!

巣箱は2年目以降に入ることも多くあります。12月には巣箱を取り外し、巣箱の中が何も無い状態に掃除し、熱湯消毒を行ってください。その後、中をよく乾燥させてから、再度設置場所にしっかり固定してください(巣作りをしなかった場合でも、固定し直すと翌年以降入りやすくなります)。今年もご報告お待ちしております。

アンケート観察記録

2014年7月25日発行の第53号「自然通信員アンケート調査」の問1 観察記録です！(抄)



回答者 201 名

■ツバメの巣



●身を乗り出していて巣立ちがちかそうに感じました(祐天寺2丁目)●1回目2回目は同じツバメと思うが確認できませんでした(緑が丘駅前ビル)

■シジュウカラ



●朝、地面と木を飛びうつり、少しもじっとしていません(東山公園)●2羽で仲良く体を細くスイーッと飛んでいきました(平町1丁目)

■アオダイショウ



●日陰で通行人三人の目の前でニョロニョロ(区民センター)●脱皮した直後かしら。庭の通路を横切ってました(碑文谷5丁目)

■テントウムシ



●黄色のテントウムシが玄関ドアにいた(大橋1丁目)●茄子の枝に2~3匹(駒場1丁目)●自宅のフラワーボックスに2つ星(中町2丁目)

■蝶類



●アゲハチョウ：玄関の塀の柵の陰ではねを閉じて休んでいました(大岡山1丁目)●ツマグロヒョウモン：オスは木の上、メスは地べた近くにたたずんでいた(洗足2丁目)●ルリタテハ：クヌギの樹液をノコギリクワガタと争っていた(碑文谷4丁目)●(キタ)キチョウ：暑いので水分を少し石にまいたら、寄ってきました(祐天寺1丁目)●コムスジ：クズの葉を幼虫が食べるので、林縁でたまに見かける(碑文谷4丁目)

■その他

- 鳥●メジロ：桜、梅、サルスベリなどに群れでやって来て、にぎやかだった(洗足2丁目)●オナガ：最近もどってきたようだ(三宿の森)●トビ：きれいな円をゆっくりとえがき、ゆっくりと北から南へ林試上空を通過していった(下目黒4丁目)●カワラヒワ：ひまわりの種を食べに(東山3丁目)
- 爬虫類●ヤモリ：毎年初夏からグレー色の保護色となり、庭先やベランダの壁で見ます(自由が丘1丁目)●トカゲ：背の青光りが、今年から茶色になっていました(八雲4丁目)●ヤモリ：一昨年もらって取り付けたシジュウカラの木箱巣を、先日、大きなヤモリが中をのぞき込んでいました(東が丘1丁目)
- セミ(鳴き声)●ニイニイゼミ：7月18日/洗足2丁目●ツクツクボウシ：7月25日/東山3丁目付近目黒川●アブラゼミ：7月18日/目黒本町1丁目●ヒグラシ：7月上旬/目黒1丁目
- トンボ●シオカラトンボ：庭に水を撒いていると必ず現れる(南2丁目)
- 甲虫●カブトムシ：樹液にあつまっていた(駒場公園)●カナブン：むらがる様に集まって(林試の森)
- ヒキガエル●雷雨の中、土を探してアスファルトの上を歩いていました(祐天寺1丁目)●雨後、庭にひょっこり現れました(五本木)●メダカを飼っているところに卵を産んだ(八雲2丁目)
- 哺乳類●ハクビシン：屋根づたい、もしくは木を登ってやってきたようだ。桃の実を下におとす(洗足1丁目)●ハクビシン：ギョギョと鋭い声でしたので外を見ると、電線の上を伝って移動していた(中目黒5丁目)●タヌキ：庭に出しておいたネコのエサを食べていた(大岡山1丁目)
- その他●カマキリ：わずか2cmほどの体調ながら、1cmほどのアリを捕食していた(駒場1丁目)●コバネイナゴ：物干しに来た(青葉台4丁目)

ウグイス特集



初音の秘密

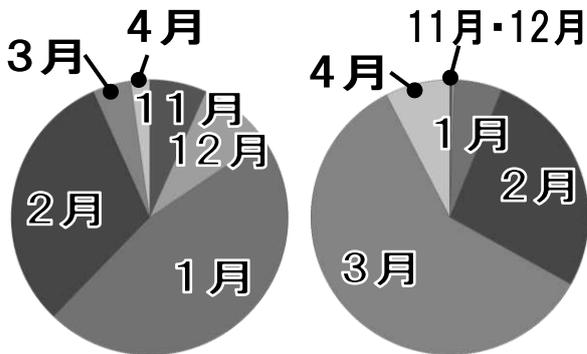


目黒区平町にて、ウグイスが脂肉に

ウグイスの「ホー・ホケキョ」は、さえずりといわれる鳥の鳴き方のひとつで、繁殖期にメスを誘うため、また他のオスに対し縄張りを示すためのものです。春先のウグイスにはさえずりが下手な期間があります。また、若いウグイスは、幼いころに聞いたさえずりを覚えており、それを思い出しながら練習を重ねることで上手になるともいわれています。そのような過程の鳴き方を「ぐぜり鳴き」といいます。周りにさえずりが下手なウグイスしかいない場合、変な鳴き方が定着してしまうこともあるとか。目黒のウグイスはどんな鳴き声でしょうか。

その他にも、「チャッ・チャッ」と鳴く「笹鳴き(地鳴き)」や、「ケケケケケケ・ケキョ、ケキョ」と鳴く「谷渡り」等、様々な鳴き方をします。

過去の初音(1940~2013)



過去最早報告

最多報告月

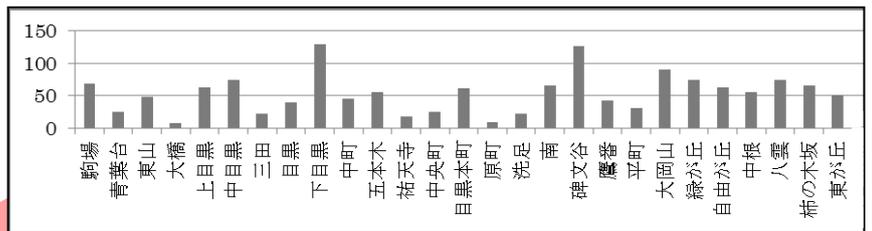
●期間は11月1日~翌年4月30日までを集計しています

★過去の全報告件数は1456件です(調査をしなかった年もあります)

■もっとも早い報告は平成20年11月3日です。

□もっとも多く聞かれた時期は3月上旬(計363件)です。

■もっとも多く報告された場所は下目黒(計129件)です。



ウグイスの初音情報募集中!

ウグイスの初音情報を募集します! 春の訪れを感じさせるウグイスの「ホー・ホケキョ」という鳴き声を聞いたらご一報下さい。(昨年は2月21日、一昨年は2月12日に最初の報告がされました)

●ウグイス発見ポイント●

ウグイスは笹やぶや茂みを好み、目黒区では公園や住宅地の庭などで見られます。ウグイスと勘違いされやすいメジロや、5月頃や10月頃にやってくる、センダイムシクイなどの渡り鳥もいますので、鳴き声に注意して探してみましょ。

また梅に鶯のように、ウメでもウグイスを見ることができます。これはウメの蜜だけでなく、幹の皮で越冬している小さな虫をついばみに来ているためです。



ウグイス

15~16cm くちばしから目にかけての黒っぽい線が特徴。



メジロ

12cm 目の周りの白い輪が特徴。体の色は暗黄緑色をしている。



センダイムシクイ

12.5cm さえずり「チヨチヨビー」など。声で聞き分けます。

みどりの活動紹介

中目黒公園のシンボルのサクラ



園内には、ソメイヨシノ（染井吉野）やヤエエビシダレ（八重紅枝垂）などのサクラがあります。中でも原っぱにあるソメイヨシノ（写真左）は、公園が出来る前から植えられているもので、満開になるととても見ごたえがあります。ソメイヨシノの開花のあとも、ウコン（鬱金）（写真右）などが咲きます。花が黄色いのが特徴です。



（中目黒公園花とみどりの学習館より）

いろいろなサクラを楽しむ

駒場野公園には約20種類の桜があります。開花時期も様々なので、長い期間、花が楽しめます。3月下旬、正門沿いの園路で小ぶりで可愛い紅色の花を咲かせる「コヒガン」。その後「エドヒガン」や「オオシマザクラ」等が次々開花。そして4月下旬、南門から拡張部に向かう道沿いで大輪の八重桜「カンザン」が見事な桜道をつくれます。この期間、自然観察舎で開花調査と桜展示を行っています。



（駒場野公園自然観察舎）

♪ 街も野の鳥の歌が聞こえるまち 計画紹介その1

身近な自然を守り、いきものたちと共に暮らせるまちを未来に伝えていくため昨年4月より推進している『さえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画(目黒区生物多様性地域戦略)』をポイント紹介いたします。



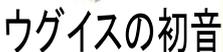
目標1 みどりの風景をまもり、いきものにやさしさのある環境をつくります

まちの成立ちや地域の歴史、育んできた文化、地形、土地の利用、緑地の分布、住民の活動などにより、それぞれの地域で差異が見られる「身近な自然」に目を向け、たとえ1本の木、1鉢の花、1匹の虫、1羽の鳥でもつながりの中で自然をつくりあげている大切なものという認識をもちます。

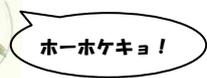
（本編は区立図書館で閲覧できます）



シジュウカラ



ウグイスの初音



現在調査中のいきものたち カモやツグミなどの冬鳥を初めてみた日



ツクシ

お知らせいただく項目

- いつ(年月日)
- どこで
- なにを
- ようす・メッセージ

いきもの調査は、無理をして探しに出かけなくても、日ごろの生活の中で出会ったものをお知らせいただいております。楽しみながら参加してください



- いつも観察情報をありがとうございます。いただいた情報は、貴重な記録としてパソコンに集約しております。紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください
- 調べるいきものたちのパンフレットをご希望の方は、係までお申し込みください。また、『めぐろのいきもの80選』を目黒区総合庁舎、自然観察舎、花とみどりの学習館、目黒区書店商業組合加盟の書店などで販売中(1冊400円)です
- いただいた写真等は、通信員だよりのほか区発行の印刷物に使用することがありますのでご了解ください
- 通信員をおやめになりたいときや、転居のとき、お名前の誤りなどはお電話等でご一報ください
- 観察情報や写真は郵便・FAX・Eメール（sizen@city.meguro.tokyo.jp）でみどりと公園課までお送りください。お写真をいただくと、種類を見分けるのに役立ちます
- 通信員だよりはホームページからダウンロードできます。発行時にはメールでお知らせいたします。通信員だよりの郵送が不要の方は、メールでご連絡ください